

Tezukayama

No.27

University Letter
2010.7.25

本物主義 — Do Real, Be Real.



「大学通信 帝塚山」企画・編集委員会



女子バレー部／春季リーグ開幕 6連勝で3部昇格決定！

特 集

- P.2 • 心理福祉学部 2011年度心理学部に改組
- P.3 • 経営情報学部 観光経営コース開設

特集

2010年4月
経営情報学部に観光経営コースを開設しました

本学部のカリキュラムの内容としては、経営学の基礎・専門科目をベースとした、観光経営に特化したカリキュラムを新規開設します。特に、観光科目としては、観光知識

ラムの内容としては、経営学の基礎・専門科目をベースとした、観光経営に特化したカリキュラムを新規開設します。



姜 聖淑 准教授

かん そんすく 帝塚山大学経営情報学部・准教授
(観光経営コース担当) 2006年立教大学大学院観光学研究科修士後期課程修了博士(観光学)
取得。京都大学大学院、和歌山大学などでの勤務を経て、2010年より本学経営情報学部に着任。
専門は、ホスピタリティ・マネジメント・サービス人材論。

近鉄グループによる講義 「観光ビジネス入門」 9/30(木)から開講

鉄道ビジネス、旅行ビジネス、宿泊ビジネス、娯楽ビジネス、文化ビジネスの第一線で活躍されている方をお招きして、観光ビジネスに必要とされる基礎知識を習得します。

回数	テーマ	主な内容
第1回	鉄道と観光ビジネス	鉄道事業戦略とその中の観光ビジネスの位置づけ及び発展を学ぶ
第2回	観光ビジネスガイダンス	観光ビジネスの中核をなす交通業、宿泊業、旅行業と観光資源について全体的な概要を学ぶ
第3回	鉄道事業	鉄道事業の特性と今後の方向性及び観光特急を中心に観光輸送の特性を学ぶ
第4回	鉄道事業と沿線観光資源開発	沿線の観光資源開発のための鉄道事業者の取組を学ぶ
第5回	バス事業	バス事業の特性と今後の方向性及び観光地でのバス輸送と観光バス事業を学ぶ
第6回	旅行ビジネス	旅行ビジネスの仕組み及びインターネットの発展の中で旅行ビジネスがどう変わっているかを学ぶ
第7回	国際旅行ビジネス(海外観光誘致ビジネス)	国際旅行ビジネスと国内旅行ビジネスとの違い及び国際旅行ビジネスの将来動向を学ぶ
第8回	会員制旅行ビジネス	中高年をメインターゲットにした「旅の友」組織を活用したクラブツーリズムの会員制旅行ビジネスについて学ぶ
第9回	ホテルビジネス	ホテルビジネスの概要及びホテル経営のポイントについて学ぶ
第10回	リゾートホテルビジネス	リゾートホテルの特性及び志摩観光ホテルをモデルとしたリゾートホテル経営のポイントについて学ぶ
第11回	リゾート開発事業	伊勢志摩リゾート開発をモデルにリゾート開発事業の特性について学ぶ
第12回	テーマパークビジネス	志摩スペイン村をモデルにテーマパークビジネスの特性について学ぶ
第13回	旅館ビジネス	賢島生花園をモデルに旅館ビジネスの特性について学ぶ
第14回	文化事業	鉄道会社の中での文化事業の位置づけと役割を学ぶ
第15回	歴史街道事業	伊勢から神戸まで古代から現代の歴史の舞台をつなげる歴史街道事業について学ぶ

※テーマ、内容については、講師の都合により変更になる場合があります。詳しくは、経営情報学部 学部事務室にお問合せ下さい。

観光サービス創造人材育成に向けた 経営情報学部の新展開



観光学とは、今起きている様々な現象を見る実践的学問です。特に、本学部の観光経営コースでは、基礎的な経営と専門性を有するとともに、観光経営において創造性を發揮できる人材育成を目標としたカリキュラムを提供しています。

経営情報学部では2010年度より、観光サービスに関して高いレベルの知識と専門性を有するとともに、観光経営において創造性を發揮できる人材育成を目指す人材を育成します。観光と関わるビジネスは、宿泊産業、旅行産業、航空を含む運輸・建設産業だけではなく、飲食業、ブライダル産業、最近注目される始めた医療観光まで、多くの業種からなる裾野の広い産業です。観光立国の実現は、国や地域経済の発展にとって重要な課題となりました。教育機関においても多方面にかけて観光産業においても、多方面にかけて観光産業に限らずサービス産業全般で活躍できる人材育成が求められています。

経営情報学部では2010年度より、観光サービスに関して高いレベルの知識と専門性を有するとともに、観光経営において創造性を揮発できる人材育成を目指す人材を育成します。観光と関わるビジネスは、宿泊産業、旅行産業、航空を含む運輸・建設産業だけではなく、飲食業、ブライダル産業、最近注目され

る始めた医療観光まで、多くの業種からなる裾野の広い産業です。観光立国の実現は、国や地域経済の発展にとって重要な課題となりました。教育機関においても多方面にかけて観光産業においても、多方面にかけて観光産業に限らずサービス産業全般で活躍できる人材育成が求められています。

経営情報学部では2010年度より、観光サービスに関して高いレベルの知識と専門性を有するとともに、観光経営において創造性を揮発できる人材育成を目指す人材を育成します。観光と関わるビジネスは、宿泊産業、旅行産業、航空を含む運輸・建設産業だけではなく、飲食業、ブライダル産業、最近注目され

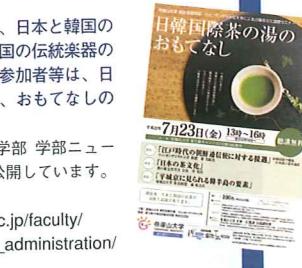
観光経営コース開設記念 日韓茶文化国際セミナー開催 In 東生駒キャンパス

7月23日、経営情報学部では、本年度から観光経営コースが開設されたことを記念して、韓国ウォンガングデジタル大学と共に、茶の湯のマナーから、おもてなしの心を学ぶことを目的に、日韓茶文化国際セミナー「日韓国际茶の湯のおもてなし」を開催しました。

セミナーでは、落合副学長及び、国際茶文化学会理事長 兼 ウォンガングデジタル大学理事長のLee, Jinsoo 氏が挨拶。その後、ウォンガングデジタル大学の朴貞姫教授による講演(演題:「江戸時代の朝鮮通信使に対する接遇」)、茶の湯文化学会 谷晃会長による講演(演題:「日本の茶文化」)、本学の森郁夫名誉教授による講演(演題:「平城京に見られる韓半島の要素」)が行われ、約200名の聴講者らは、熱心に耳を傾けていました。

講演終了後は、別室にて、日本と韓国のお茶が振舞われ、また、韓国の伝統樂器の演奏なども行われました。参加者等は、日韓の交流を深めるとともに、おもてなしの心について学びました。

★ホームページの経営情報学部 学部ニュースにて、セミナーの様子を公開しています。詳しくはこちる:
http://www.tezukayama-u.ac.jp/faculty/business_administration/



特集

2011年4月
心理福祉学部が心理学部になります

きめの細かい教育
心理学部は、2004年度に誕生した心理福祉学部から改組されて2011年度からスタートする新学部です。心理学部心理学科の教員は12名で、学科定員は100名となる予定です。教員数に比べて学生数が少ないのですが、「きめの細かい教育」ができるところが強みです。入学直後に恒例の合宿オリエンテーションを行ない、先輩学生10数名と教員全員が一緒になって最初の大学生活動への導入プログラムを実施しています。

バランスタイプの構成
帝塚山大学・心理学科のモットーは「実験心理分野」、「臨床・発達心理分野」、そして新たに「健康・スポーツ心理分野」の4領域から構成されています。さらに、いずれの分野にも関わる共通スキルとして「カウンセリングスキル」を置いて、すべての学生がカウンセリングの基礎的な理論と技法を身につけることができます。

フィールドでの研究と活動の実践
帝塚山大学・心理学科のモットーは「体を動かし、心を知る」です。心理学科や大学院臨床社会心理学専攻では、帝塚山大学「ここでのケアセンター」とともに、さまざまなプロジェクトに取り組んでいます。学生には、キャンパスの内部で、あるいはキャンバスから出て、本物のフィールドで、実験や調査、観察、ボランティアや実践活動

的的な理論と技法を身につけることができます。カウンセリングは今後あらゆる職業人や社会人に必要な資質であると考えております。その育成に力を入れています。

心理学部のココが強み!

心理学の総合的な学びの充実 健康・スポーツ心理分野を新設

従来の「実験心理分野」、「社会・応用心理分野」に加えて、新たに「健康・スポーツ心理分野」に関わる科目群(「健康心理学」、「スポーツ心理学」、「メンタルトレーニング論」、「感情心理学」)を設置しました。

アフターケア
卒業生の多くが心理専門職として、あるいは企業人・公務員として、活動を開始しつつありますので、今後これらの卒業生へのアフターケアに力を入れていきます。京阪奈地域での帝塚山大学・学園のネットワークを活用して卒業生が活躍できる場を創造したいと考えています。

カウンセリングスキルの重視
「カウンセリングスキル」を学部学生全員への共通スキルとして重視。「カウンセリング論」「カウンセリング実習」「グループカウンセリング実習」「アドベンチャー・カウンセリング」などの科目が充実しています。



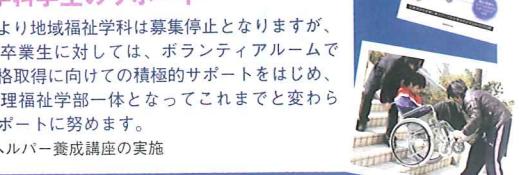
現代GPによるフィールドでの実践活動への学生参加
2006年に文部科学省「現代的教育ニーズ取組支援プログラム(現代GP)」に、「心のケアとサポート」人材養成と自立支援・地域の活性化と安心・安全な社会の創造のための実践的教育」が採択され、様々な取組を実施。生駒市小学校や交野市小学校でのスクールサポートや不登校支援、アドベンチャー活動、職業人へのストレス調査やメンタルサポートの取組など、多数のフィールドで実践活動や研究活動を行っています。また「ここでのケアセンター」では軽度発達障害の子どもと保護者へのグループワークを開催し、多くの学生や大学院生がサポートとして参加しています。



心理学検定実施による基礎学力の向上
2010年度より、日本心理学会連合主催の心理学検定の合格を目指し、団体受験や各種勉強会を実施。その取り組みの中で基礎学力の向上を目指します。

地域福祉学科学生のサポート

2011年度入試より地域福祉学科は募集停止となります。在学生および卒業生に対しては、ボランティアルームでの活動や、資格取得に向けての積極的サポートをはじめ、心理学部・心理福祉学部一体となってこれまでと変わらない教育、サポートに努めます。(例)ガイドヘルパー養成講座の実施



学部長 蓬花 一己

れんげ かずみ 帝塚山大学心理福祉学部・教授
1981年大阪大学大学院人間科学研究科博士課程単位取得退学、1987年帝塚山大学教養学部講師。2004年より現職。博士(人間科学)専門は交通心理学で、とくに高齢ドライバー研究、ハザード知覚、リスクテイキング行動、事故分析、運転者教育分野に從事。主な著書は、「交通事故の社会心理学」(編著、北大路書房)、「交通事故危険度」(著者、啓正社)など。

駅に近い
学園前キャンパスは近鉄奈良線学園前駅に直結しています。駅の改札口から大学正門まで徒歩1分の距離で、通学の便が良いことが特徴です。レポートの作成で遅くなってしまってもすぐに電車に乗れます。

をさせるようにしています。

質の高い教育を目指して GPシンポジウム開催
本学取組について実践報告を行いました。

帝塚山大学の優れた教育取組は、文部科学省からも高く評価されており、GP等多数の支援事業に選ばれています。それらの取組について、報告会を行いました。

まず、3月3日、学園前キャンパスにて、「長期インターンシップ・プログラムの現状と課題」と題して、2006度に「産学連携による実践型人材育成事業」に採択された本学の取組「マルチプレイ型コンテンツ知財専門人材育成」について、シンポジウムを開催しました。

シンポジウムでは、法学部の高榮洙教授のほか、他大学で同事業に取り組んでいる立教大学の山中伸彦教授、名古屋工業大学の松井照幸長期インターンシップ担当人材育成マネージャー、大阪工業大学の宇佐見弘文教授らが、各大学における実践報告や提案を行いました。また、「インターンシップモデルー産業連携や文理融合の観点から」と題したパネルディスカッションでは、参加者間で活発な議論が行われ、学生の将来について考えました。

3月9日には、東生駒キャンパスにて、2008年度教育GP（質の高い大学教育推進プログラム）に採択された本学の取組「学生の学力・人間力・社会力の養成-e能力ポートフォリオとe能力アセスメントを活用して」について、シンポジウムを開催。文部科学省高等教育局大学振興課大学入試室長の玉上晃氏が来校し、教育GPの重要性を強調しました。その後、本学の取組について、経済学部の中嶋一教授と岩井洋教授が報告を行い、質疑応答においては、今後のeラーニング及びeポートフォリオの可能性について討議しました。

地域に開かれた大学を目指して 大阪府と共に開講座を開催しました。

大阪府との共催で5月14日～28日の間、心理福祉学部／同大学院産業心理領域の森下高治教授のコーディネートのもと、「ストレスとのつきあい方」をメインテーマに、毎週金曜日に3回にわたって公開講座を実施し、約100人の一般の方々が参加しました。講義には、一般の方だけでなく、臨床心理に関する仕事に携わっている方々も参加し、「カウンセリングの先生の話し方としてすごく参考になった」「自律訓練でストレスを解消できる方法がわかつてよかったです。日ごろの生活に役立てたい」などの声が、多数寄せられました。

5月14日

「ストレス社会をどう生きるか—カウンセリングからのヒント」
講師：森下高治教授
本学大学院生の西澤由香さんが太極拳「ふあんそん」を指導しました。

5月21日

「メンタルヘルスケア—セルフトレーニングのすすめ」
講師：鹿野麗子氏
本学大学院（2010年卒業）の鹿野さんによる講義。大学院生野田智美さんもロールプレイングを実演しました。

5月28日

「楽しいチームビルディング—ここちよい関係づくり」
講師：宮川治樹准教授
ペアワークで心地よいコミュニケーションの取り方を実践。
最初は緊張していた参加者も、すっかり打ち解け、最後は笑顔と笑い声が会場を包みました。



※GP…Good Practice の略。大学教育の改善に資する様々な取組のうち、今まで継続的に実施し、実績を挙げている優れた取組を選定し、文部科学省が支援する事業。

主会場として開催しました。あかね祭は、新入生歓迎行事の一環として、学生達が企画、運営しています。新入生や在学生約600人、地域の人たち約900人の合計約1500人が参加し、盛り沢山のイベントを満喫しました。

今年のテーマは
五目チャーハン



2010年5月2日

あかね祭 in 学園前キャンパス

学園前キャンパスの第4回あかね祭を、5月2日、ハートの広場を主会場として開催しました。あかね祭は、新入生歓迎行事の一環として、学生達が企画、運営しています。新入生や在学生約600人、地域の人たち約900人の合計約1500人が参加し、盛り沢山のイベントを満喫しました。

当日は、ハートの広場にテンント完売する繁盛振り。広場のマイステージでは、クラブ・サークル紹介、ピンゴゲーム、キャラクターショー、吉本のお笑い LIVE、ダンスサークルの実演などが繰り広げられ、多くの人々がステージを囲みました。

現代生活学部居住空間デザイン学科が、学べるインテリアファブリックにちなみ、日本織物文化研究会との共催で、フォトグラファー・内藤順司氏の作品展「甦るカンボジア・伝統織物の復興が、暮らしと森の再生に至るまで」を実施。本作品展では、カンボジアの内戦が終わった1996年、独力でIKTT（メール伝統織物研究所）を立ち上げて以来、カンボジアを拠点に伝統的な綿糸の復興に尽力する森本喜久男氏の活動を、フォトグラファー・内藤氏の写真とギャラリートークを通して来聴された多くの方々に伝えました。

また、9階の教室では、書道作品や華道部展示なども行われ、遅くまでキャンパス内は賑わっていました。

英語による奈良観光ガイド人材養成プログラム修了生が学術講演会にて通訳を担当しました



2010年度大学後援会総会が5月22日、東生駒キャンパス6号館にて開催されました。大学後援会は、在学生の保護者の皆様で組織していただきおり、当日は約200人の会員の方が出席されました。総会では、小川後援会会長、山本学長、後援会OB組織であるファミリークラブの岡島会長の挨拶に引き続き、2009年度の決算、2010年度の役員人事、予算等の審議が行われました。役員人事では、吉田正史氏が新会長に選出されました。

また、午後からは、奈良の魅力を知ることも、帝塚山大学についての理解を深めていたくことを目的に、学外見学会を行いました。学外見学会は、世界文化遺産「古都奈良の文化財」に登録されている法相宗大本山で南都七大寺の一つである「薬師寺」を訪問するグループと、本年4月に本学特別客員教授に就任いただいた寺島実郎氏の特別公開講座を聽講するグループに分かれて実施しました。

なお、同日に卒業生の保護者の皆様で組織していただいている、帝塚山大学ファミリークラブの総会も開催され、学外見学会は、大学後援会との合同実施となり、充実した一日を過ごしていました。

2010.7.25 University Letter No.27

保護者との連携

ファミリークラブ総会を開催しました。

2010年度大学後援会総会が5月22日、東生駒キャンパス6号館にて開催されました。大学後援会は、在学生の保護者の皆様で組織していただきおり、当日は約200人の会員の方が出席されました。総会では、小川後援会会長、山本学長、後援会OB組織であるファミリークラブの岡島会長の挨拶に引き続き、2009年度の決算、2010年度の役員人事、予算等の審議が行われました。役員人事では、吉田正史氏が新会長に選出されました。

また、午後からは、奈良の魅力を知ることも、帝塚山大学についての理解を深めていたくことを目的に、学外見学会を行いました。

学外見学会は、世界文化遺産「古都奈良の文化財」に登録されている法相宗大本山で南都七大寺の一つである「薬師寺」を訪問するグループと、本年4月に本学特別客員教授に就任いただいた寺島実郎氏の特別公開講座を聽講するグループに分かれて実施しました。

なお、同日に卒業生の保護者の皆様で組織していただいている、帝塚山大学ファミリークラブの総会も開催され、学外見学会は、大学後援会との合同実施となり、充実した一日を過ごしていました。

英語による奈良観光ガイド人材養成プログラム修了生が学術講演会にて通訳を担当しました



本学が実施する文部科学省委託事業「英語による奈良観光ガイド人材養成プログラム」第2期修了生の高岡修史氏が、3月6日、帝塚山大学奈良学総合文化研究所が主催する学術講演会「山東省の仏教美術—白龍寺の発掘成果を中心に—」において通訳を担当しました。

本講演会は、山東省文物考古局、山東省文物考古研究所、チューリッヒ大学との合同調査に参加し、発掘調査を進めてきた専門家であるロンドン大学のルーカス・ニッケル氏を同研究所がお招きして、その合同調査を実施した「白龍寺」の寺院址の発掘調査概要と山東省の仏教美術について講演いたしました。高岡氏は、英語での講演を濶みなく通訳し、英語と日本語が飛び交う質疑応答で綺麗くられた講演の最後には、ルーカス氏と高岡氏の2人に参加者から惜しみない拍手が送られました。

「薬師寺」では、人文科学部の関根教授、戸花講師の案内のものと、安田映里長老様の法話、玄奘三蔵院伽藍や白鳳伽藍の見学などを実施しました。寺島実郎氏が、本学特別客員教授の特別公開講座では、「世界の構造転換と日本」と題した講義で、世界経済の動きと日本の進路などについて学びました。

平成22年度 奈良大学後援会総会



No.27 2010.7.25 University Letter Tezukayama 06

学部・学科の話題

各学科の取組やその他話題は、HPで紹介しています。
詳しくはこち <http://www.tezukayama-u.ac.jp/faculty/> 気になる学部をクリック!!

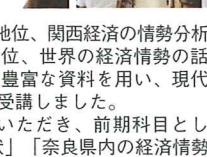
英語コミュニケーション学科

生きた観光英語を学ぶ

英語コミュニケーション学科では、観光英語研究Aの講義で、奈良の観光名所についての説明を英語および日本語双方で行う、臨地講義を行っています。

7月3日には、東大寺で臨地講義を行いました。学生たちは、鎌倉時代に再建された日本最大の山門、南大門をくぐり、大仏殿、二月堂など世界文化遺産について、同学科の小坂教授及び、「英語による奈良観光ガイド人材養成プログラム」修了生による英語と日本語の説明を聞きながら順路を進み、観光案内に使う英語を実践的に学びました。

この講義では、観光英語3級の取得を目指しています。



日本文化学科 学外実習 古代瓦作りを体験

5月30日、日本文化学科では、古代瓦作りの学外実習を行いました。実習の場所として選ばれたのは、世界文化遺産の唐招提寺や、東本願寺等の瓦の修復を担当し、日本伝統瓦の復元製作の第一人者である山本瓦工業平群工場です。学生たちは、山本瓦工業の職人の実演を見ながら、古代瓦の歴史や、その特徴、作り方について教わり、その後、自分たちで古代瓦を作りました。

古代瓦作りを通して、学生たちは、機械化が進む現代では、50年前に作られた瓦の作り方さえ謎に包まれてしまうことがある状況を見聞きし、古代の瓦を復元することの難しさと、「技術の伝承」の重要性を学びました。



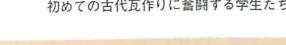
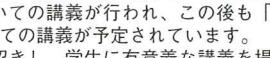
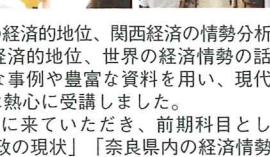
経済学科 財務省近畿財務局長による特別講義を実施

6月4日、経済学科では、「経済学特殊講義（金融・財政の現状）」において、財務省近畿財務局の森川卓也局長による特別講義を実施しました。

「関西経済と日本・世界」というテーマのもと、関西の経済的地位、関西経済の情勢分析、各府県連携の動きに関する話から、世界中の日本の経済的地位、世界の経済情勢の話へと至りました。最近の日本の財政事情を含め、具体的な事例や豊富な資料を用い、現代という時代をわかりやすく講義して頂きました。約70名の学生は熱心に受講しました。

本講義は、近畿財務局から、毎回、専門分野の講師に来ていただき、前期科目として2006年度より開講しているものです。4月以降、「日本財政の現状」「奈良県内の経済情勢」「災害対策制度」「公正な証券市場の確立」などについての講義が行われ、この後も「消費者問題」「金融情報」「国有財産の活用」などについての講義が予定されています。

経済学科では、今後もさまざまな分野から講師をお招きし、学生に有意義な講義を提供していきます。



**日本総合研究所 理事長
寺島実郎氏
帝塚山大学 特別客員教授就任
特別公開講座を開催**

政治・外交・経済問題などを多方面で論じている寺島実郎氏が本年4月に、帝塚山大学の特別客員教授に就任し、それを記念した特別公開講座「世界の構造転換と日本」を5月22日、帝塚山大学学園前キャンパス講堂で開催されました。

本講座には、本学学生、保護者、一般市民ら約500人が参加し、最新のデータに裏付けられた寺島氏の講義に引き込まれ、熱心にメモを取っていました。

寺島氏は、講義の中で、世界経済と日本の貿易構造に触れながら、対米関係を考慮した上での日本の今後のアジア戦略の重要性を説きました。また、華僑国家であり中国の成長力をASEANに繋ぐ起点ともなっているシンガポールに注目。人口が少なく、工業生産力や資源産出力もない同国が、バイオ・医療などの技術やシステム、ソフトウェアの研究開発等バーチャルな価値を生み出

す力によって21世紀の新たな国家像を示し、発展していることを紹介しました。最新のデータを駆使した講義に参加者からは、「グレーター・チャイナ（大中華圏）の様子がよくわかった。」「世界経済の状況を歴史を追って知ることができ、よく理解できた。」などの感想が多く寄せられました。

帝塚山大学では、今秋にも寺島特別客員教授による特別公開講座の開催を予定しています。



寺島実郎氏 経歴

1947年北海道生まれ。1973年早稲田大学大学院政治学研究科修士課程修了、同年三井物産入社。ブルッキングス研究所（在ワシントンDC）出向、米国三井物産ワシントン事務所長、三井物産戦略研究所所長、早稲田大学大学院アジア太平洋研究科教授、三井物産常務執行役員を経て、現在は日本総合研究所理事長、多摩大学長、三井物産戦略研究所会長。このほか文部科学省・中央教育審議会委員、総務省・グローバル時代におけるICT政策に関するタスクフォース国際競争力強化検討会座長などを兼任。

**山本隆宣教授
カナダで特許取得**

おめでとうございます

心理福祉学部 心理学科 山本隆宣教授が、2001年秋に、英國オックスフォード大学の研究者と明治乳業と共同出願していた発明「中枢神経の疲労回復又は予防剤及び疲労回復又は予防の為の食品」が、カナダ政府の特許査定認可されることが決定しました。特許認定により、この発明の抗精神疲労に対する実用化への道が開けます。

山本教授は、アミノ酸輸送の研究に使うアミノ酸輸送阻害薬が、疲労を強力に抑える働きがあることに注目し、マウスを使った動物実験で、「分岐鎖アミノ酸十アミノ酸輸送阻害薬」を服用したマウスの方が、「分岐鎖アミノ酸」のみ服用したマウスに比べ、2.5倍以上も疲労が軽減されることを実証しました。

現代生活学部 居住空間デザイン学科 和歌山工業高等学校と 高大連携に関する協定を締結

4月26日、帝塚山大学 現代生活学部 居住空間デザイン学科は、和歌山工業高等学校と、高大連携を目的とした協定を締結しました。

この協定により、和歌山工業高等学校の生徒・教職員は、研修・教科研究の場として、帝塚山大学 現代生活学部 居住空間デザイン学科の施設等を利用することができます。



協定書を交わす小林美和現代生活学部長（写真右）と
西脇英雅和歌山工業高等学校長（写真左）

平城遷都1300年について考える 奈良財務事務所主催「平城遷都1300年祭記念の基調講演並びにシンポジウム」に 千田特別客員教授、伊原経済学部長が参加

6月8日、近畿財務局 奈良財務事務所主催の「平城遷都1300年祭記念の基調講演並びにシンポジウム」が、奈良県文化会館にて開催されました。

第1部では、帝塚山大学の千田稔特別客員教授が「平城京という物語」と題して、聖武天皇の生涯に焦点をあてながら、平城京

遷都の歴史について基調講演を行いました。千田教授のユーモアあふれる講演に、会場からは、笑みがこぼれる一幕も。

歴史の教科書ではわからない平城京の魅力に、聴講者等は聞き入っていました。



また、第2部で行われた嶽釜志津江奈良財務事務所長コーディネーターによる、遷都1300年祭が奈良県下にもたらす影響、経済効果について有識者が語るシンポジウムに、伊原豊実経済学部長が参加しました。

伊原学部長は、平城宮跡会場の来場者数や、宿泊者数の動向などのデータについて、経済学者の立場から見解を述べるとともに、1300年祭の成功に向けて、「奈良県民一人ひとりが、「奈良をどうしたいか」ということを考え、平城京の1300年間の歴史の魅力を伝えていくことが重要。」と提案しました。

会場には、市民の方など約100人が同シンポジウムに参加し、各パネリストとの意見をメモに取るなどして、熱心に耳を傾けていました。



卒業生紹介

石田 浩幸さん
飛鳥保存財団 事務局
奈良県立高等学校（現 高取国際高校）
教養学部 教養学科 2002年卒業

職場：財団法人 飛鳥保存財団 <http://www.asukabito.or.jp/>
飛鳥保存財団は、飛鳥地方の歴史的風土および文化財の保存と活用をはかると共に、地域住民の生活の向上に寄与することを目的に設立された組織です。また、2008年度には、帝塚山大学と連携協力に関する協定を締結し、地域貢献に取り組んでいます。

「帝塚山大学と飛鳥保存財団の協定の橋渡しをしてくださったのは、森先生^{※1}でした。1年生のときに初めて森先生の講義を聴講した時には、思いもよらなかったことで、今でもその光景を懐かしく思い出します。」そう語るのは、2002年教養学部^{※2}を卒業した石田浩幸さん。

石田さんは、飛鳥保存財団で、提携大学とのウォーカー駅前美化活動、講演会などのイベントの企画から運営までを担当しています。申請書類や関係機関との調整など、実施に至るまでの準備が大変ですが、その分イベントが成功し、参加者から感謝の手紙やお電話を頂戴すると、次のイベントに向けてのエネルギーにな

るそうです。
飛鳥保存財団で働き始めた頃を振り返り、「職員になって初めて教えてもらったことが、「ほう・れん・そう」。基本的なことですが、外部の人と聞ることが多い分、本当に重要です。職場内での「報告」・「連絡」・「相談」。これらを常に心がけて仕事をしています。あとは、仕事上飛鳥来訪の方と接する機会も多いので、「飛鳥に来て良かった」「また来てみたい」と思っていただけるような真心接遇を心がけています。自分の生まれ育った『飛鳥』を一人でも多くの人に、特に自分と同世代の若い人たちに知つてもいい、実際に足を運んで、日本の原風景が残る『飛鳥』の空気に触れてもらえるような取り組みを考えていきたいと思います。」と今後の意気込みを語ってくれました。

学生時代は、時間を最大限に利用して、休日に友人と車で遠出をしたり、夏休みや冬休みなど長期休暇には、学生の間しか経験できない色々なアルバイトを経験。ボランティア活動も精力的に行き、小学校から続けているボースカウトでは、大学に進学してから指導者として活動することになり、その活動は現在も続けています。

後輩へのメッセージとして、「とにかく色々なことにチャレンジしてほしいです。アルバイトにしても、趣味にしても自由な時間があつて、なおかつ失敗しても許されるのは学生の間だけだと思いますので。」と、エールを送ってくれました。

お知らせ
9月18日・19日・23日に、帝塚山大学・飛鳥保存財団連携イベントを行います。（P.15参照）
詳しくは財団ホームページまたは大学ホームページをご確認下さい。

*1…森郁夫名誉教授。当時は教養学部教授として、主に考古学を担当。現在も客員教授。
*2…現人文学部。

学生生活課（学園前キャンパス） 小林 孝次

学生生活課で働いていると、いつも頭によぎる言葉があります。それは「男子三日会わざれば刮目して見よ。」という言葉です。男女問わず目標を持って努力している学生は、日々驚くほどの成長をしていきます。顔つきも変わっていくのが手に取るようにわかります。



そんな学生が身近に見れること。そんな学生のサポートに携われること。そんなところに仕事のやりがいを感じています。

4年間。どのように過ごすのかはあなた次第です。大学生活には無限の可能性が広がっています。目標をもって前向きに頑張つて（がんばって）ください！！

職員紹介

学生生活課（東生駒キャンパス）
山崎 緑

東生駒キャンパス学生生活課で日本学生支援機構奨学生の業務を担当しています。奨学生の皆さんとは4年間を通して関わっていくことになりますのでよろしくお願いします。

皆さん、学生時代に色々な事を体験し、その中で自分が一番楽しいと思えることを見つけて長く続けてください。人生、楽しい時ばかりではなく、辛い時もあります。そんな時、長く続いている事が辛い心を慰めてくれますよ。どうか楽しい4年間を過ごしてください！

表紙の人

女子バレーボール部



6部からスタートした女子バレーボール部は、毎季順調に昇格しています。魚井監督の指導の下、日々練習を積み重ね、春季リーグでは、開幕以来負けなしの6連勝という輝かしい結果を残し、3部に昇格することが決定しました。

秋季リーグ第3部でも優勝

できるよう練習に励む女子バレーボール部へのご声援を、引き続きよろしくお願ひします。

【春季リーグ戦結果】

4/25 (日)	○帝塚山大 3-0 近畿医療福祉大
5/2 (日)	○帝塚山大 3-1 奈良教育大
5/4 (祝)	○帝塚山大 3-1 和歌山大
5/5 (祝)	○帝塚山大 3-0 桃山学院大
5/9 (日)	○帝塚山大 3-0 四天王寺大
5/16 (日)	○帝塚山大 3-0 兵庫教育大

図書館からの お知らせ

図書館では、授業期間中（平日）、午後8時まで開館しています（土曜は午後5時まで）。授業が終ったあととの調べものや、レポート作成のための文献検索を利用することができます。

また、今年から学園前分館でも定期試験期間中の開館時刻を東生駒本館と同様、朝8時半からとし、図書館資料を利用できるようになりました。

なお、本館1階には「学習室」（座席数92席）があり、自学自習のための静かな空間を確保しています。

お知らせ・イベントニュース

Information & Event News

公開講座

※申込受付開始時期：いずれも9月1日以降。詳細は大学ホームページで告知いたします。

詳細はこちら：<http://www.tezukayama-u.ac.jp/social/lectures/>

帝塚山大学・大阪府共催公開講座 平城京と天皇

- ※聴講無料 [申込不要] 各講座先着180名聴講可。
- ※会場はいずれもさいかくホール(大阪府新館北館1階)にて14:00~15:30
- 第1回 9月4日(土)
演題：「聖武朝の考古学－東大寺造営を中心として－」
講師：清水 昭博(帝塚山大学人文学部准教授)
- 第2回 9月11日(土)
演題：「平城京を造り上げた女帝たち」
講師：甲斐 弓子(帝塚山大学考古学研究所特別研究員)
- 第3回 9月18日(土)
演題：「平城京の終焉－光仁・桓武天皇－」
講師：鷺森 浩幸(帝塚山大学人文学部准教授)

中学生・高校生のための正倉院展講座

- ※聴講無料 要申込(申込先着順150名)
- 10月24日(日) 13:30~16:00(講義+正倉院校倉見学)
- 講師：関根 俊一(帝塚山大学人文学部教授)
- 会場：奈良商工会議所

高校教員のための正倉院展講座

- ※聴講無料 要申込(申込先着順70名)
- 10月30日(土) 13:30~17:00(講義+正倉院校倉見学)
- 講師：関根 俊一(帝塚山大学人文学部教授)
- 会場：奈良県婦人会館

帝塚山大学 奈良学総合研究所 公開講座 奈良学への招待区

- ※聴講無料 要申込(各講座先着順180名)
- ※会場はいずれも東生駒キャンパス6号館6201教室
- 第1回 10月9日(土) 10:30~12:00
演題：「南都の舍利信仰」
講師：赤田 光男(帝塚山大学人文学部教授)
- 第2回 11月13日(土) 10:30~12:00
演題：「豊臣政権と大和」
講師：谷山 正道氏(天理大学文学部教授 帝塚山大学非常勤講師)
- 第3回 11月27日(土) 10:30~12:00
演題：「天の香具山」
講師：村田 正博氏(大阪市立大学文学部長 同大学院文学研究科長)
- 第4回 12月4日(土) 10:30~12:00
演題：「奈良時代の祈りと“場”」
講師：関根 俊一(帝塚山大学人文学部教授 奈良学総合文化研究所所長)

【申込・問合せ先】

- ※はがき、FAX又は、インターネットからお申込下さい。
- インターネット：帝塚山大学ホームページ(<http://www.tezukayama-u.ac.jp/social/lectures/>)から希望の講座をクリック。[申込みフォーム]より必要事項を入力してください。
- はがき・FAX：①講座名、②郵便番号・住所、③氏名(フリガナ)、④電話番号・FAX番号、E-mail(あれば)、⑤年齢・性別を明記の上、帝塚山大学公開講座までお送りください。※往復はがき不可

帝塚山大学企画・広報課 公開講座係

〒631-8501 奈良市帝塚山7-1-1 TEL:0742-48-9192 FAX:0742-48-9030

英語による奈良観光ガイド人材養成プログラム 受講生募集 受講料無料*

- ※拝観料、教材費等の実費は別途必要
- 英語と奈良観光ガイドのスペシャリストを養成する「英語による奈良観光ガイド人材養成プログラム」。平城遷都1300年を迎えた今、学内外からの強い要望により本年も実施することとなりました。社会人の皆さま、「学び直し」で奈良の魅力を発信しませんか。
- [概要] 実施期間：2010年10月～翌年2月(月～金午前 計120時間)
- ・講義場所：学園前キャンパス(県内寺社での臨地講義もあり)
- 出願資格、手続等の詳細は、
本学HP(<http://www.tezukayama-u.ac.jp/social/lectures/>)をご覧ください。

【問合せ先】
帝塚山大学 英語による奈良観光ガイド養成プログラム推進室
TEL:0742-41-4735 (土・日・祝を除く)

イベント情報

帝塚山大学・財飛鳥保存財団共催イベント

イベント in 飛鳥駅前

- ◇「光の回廊」9/18～9/19
- ◇現代生活学部 居住空間デザイン学科 植村ゼミ、村川ゼミによるインテリアアーバリックの展示 9/18～9/19
- ◇吹奏楽部による演奏 9/18
- ◇茶道部による野点 9/18

公開講座&ウォーキング

- ※雨天決行 弁当持参 各回定員50名(申込先着順)
- ※ウォーキングコースは、変更することもあります。
- 第1回 9月19日(日)「飛鳥を巡る～美術編～」
- ◇演題 『飛鳥の仏像を巡る』
- ◇講師 関根 俊一(帝塚山大学人文学部教授)
- ◇コース 中央公民館～橘寺～弘福寺～岡寺～飛鳥寺～飛鳥資料館(解散)
- ◇参加料 1,200円程度(拝観料)※当日お支払下さい。
- ◇集合時間・場所 10時・中央公民館
- ◇解散時間・場所 16時半頃・飛鳥資料館
- ◇タイムスケジュール 午前 講義(中央公民館)
昼食
午後 ウォーク(中央公民館出発～飛鳥資料館解散)

- 第2回 9月23日(木・祝)「飛鳥を巡る～考古編～」
- ◇演題 『飛鳥地域古代寺院の多様性』
- ◇講師 森 郁夫(帝塚山大学名誉教授・帝塚山大学附属博物館長)
- ◇コース 祝戸荘～坂田寺跡～川原寺～橘寺～龜石～天武・持統陵～鬼の俎・雪隠～欽明陵～猿石～飛鳥駅(解散)
- ◇参加料 400円程度(拝観料)※当日お支払下さい。
- ◇集合時間・場所 10時・祝戸荘
- ◇解散時間・場所 16時頃・飛鳥駅
- ◇タイムスケジュール 午前 講義(祝戸荘)
昼食
午後 ウォーク(祝戸荘出発～飛鳥駅解散)

- 【申込・問合せ先】
往復はがき又はEメールに、必要事項(住所、氏名、年齢、電話番号、参加希望日)を明記の上、〒634-0138 奈良県高市郡明日香村越13-1
財飛鳥保存財団 ウォーク係まで Eメール:asukabit@asukabito.or.jp

帝塚山大学経営情報学部・経済学部・法学部 高校生ビジネス・アイデア・コンテスト

このコンテストは、今年で8回目を迎えるもので、高校生が創造性とチャレンジ精神を発揮して、夢を実現するビジネス作りに挑戦してもらうことで、経済や社会への感心を高めてもらうことが狙いです。新事業、新製品及び新サービスの開発、新ビジネスの開発などのアイデアを募集します。

- 応募期間：7月16日(金)～10月6日(水)
- 応募資格：高校生又は高校生を代表とするグループ
- 応募方法：所定のエントリーシート・応募用紙に記入し、郵送してください。大学のホームページからエントリーシート・応募用紙をダウンロードしてください。

表彰：彰11月28日(日)

帝塚山大学において表彰を行い、入賞者には賞状および賞品を贈呈して栄誉を称えます。

※入賞者にはプレゼンテーションをお願いします。

賞品：最優秀賞…ノートパソコン

優秀賞…ブルーレイレコーダー

奨励賞…デジタルカメラ

佳作…デジタルオーディオプレーヤー

努力賞…図書カード

【申込・問合せ先】(8/10～8/22を除く)

帝塚山大学インキュベーション・プロジェクトチーム
〒631-8501 奈良市帝塚山7-1-1 TEL:0742-48-9202

<http://www.tezukayama-u.ac.jp/>

帝塚山大学 現代生活学部 子育て支援センター まつばっくり「親子教室」

親子教室では、各回テーマを設け、本学現代生活学部の教員の指導のもと、親子で遊ぶ快さを実感したり、親同士・子ども同士が交流し、コミュニケーションを深めてもらうための活動を行います。

- 開催日：8/7(土) 小麦粉粘土って?一緒につくろう!
講座：講師
松尾 純代(帝塚山大学現代生活学部 こども学科講師)

- | | |
|----------|--|
| 10/23(土) | えのぐであそぼ! |
| 12/11(土) | 都留 進(帝塚山大学 現代生活学部 こども学科准教授)
吉野 佳織(帝塚山大学 現代生活学部 食物栄養学科准教授) |
| 2/26(土) | 親子ちょこっと体操
岡澤 哲子(帝塚山大学 現代生活学部 こども学科教授) |

- 日 時：上記日程の13:30～15:00(部分参加も可)
場 所：帝塚山大学 現代生活学部 子育て支援センター
対 象：3歳以上就学前までの子どもと親
定 員：各回20組
費 用：各回200円程度(保険料含む)

- 【申込・問合せ先】
※各回開催日の1週間前までにe-mail、または電話(火・木・金9:00～15:00)にて受付します。参加希望日、保護者名、お子様のお名前、年齢、性別、住所、電話番号、メールアドレスをお知らせください。
FAX:0742-88-6027 E-mail child@tezukayama-u.ac.jp
〒631-8585 奈良市学園南3-1-3 TEL:0742-88-6022
帝塚山大学 現代生活学部 子育て支援センター まつばっくり

讀賣新聞社によるマスコミ講座を開講します【予告】

厳しい就職戦線に向けて、讀賣新聞を教材とした就職対策講座を開講します。政治、経済、社会、文化、生活、スポーツ等のテーマを毎回設定。現場の一線で働く記者が、新聞記者ならではの視点でニュースの解説や、新聞の読み方を解説します。詳細は、決まり次第大学ホームページ又はキャラセンターにてお知らせします。

日 程：2010年9月～2011年6月(計10回 1ヶ月に1回開催)
場 所：帝塚山大学 東生駒キャンパス
講 師：讀賣新聞社 大阪本社記者
対 象：帝塚山大学・大学院 学生
受講料：無料

- 【申込・問合せ先】帝塚山大学各キャンバスキャリアセンター
TEL:0742-48-9688(東生駒キャンバス)
TEL:0742-41-4751(学園前キャンバス)

オープンキャンパス

大学のこと、学部のこと、入試のこと、全部しっかり知ってください! 帝塚山大学をあなたの目と耳で体験できるオープンキャンパス。施設見学、体験授業、入試説明…。さまざまなイベントを用意してお待ちしています。友達や保護者の方も誘って参加してください。

- 今日のごはんはこれ!
現代生活学部 食物栄養学科 ヘルシースーム菜良による
帝塚山大学オリジナル☆ヘルシームメニュー

これらのメニューは、3月13日、奈良県主催の「女性のためのがん予防キャンペーン」の「学生食堂で提供したいヘルシームニュー」の発表会にて、発表されました。

まきまきロール白菜

156kcal

- 材料(4人分)
白菜…400g
豚(ロース)…200g
にんじん…80g
しめじ…160g
コンソメスープの素…1個(5g)

ワインビネガー…25cc

ド(△)

サラダ油…50cc

レフ

塩…少々

コショウ…少々

シンチ

マスタード…少々

グ

マヨネーズ…25g

大和マナのサラダ

99kcal

- 材料(4人分)
大和マナ…200g
玉ねぎ…100g
きゅうり…100g
パプリカ(赤)…50g
コーン(缶)…50g
スモークサーモン…4枚
バセリ…4g
ドレッシングビネガー…80cc

砂糖…小さじ1(3g)

油…小さじ1(4g)

柚子コショウ…小さじ1/5

作り方

1 大和マナは塩熱湯で固めにゆでて4cmに切る。

2 ミニトマトを半分に切る。

3 ①の白菜を広げ、上面に豚肉を広げて塩、コショウし、手前にはんじんを置き、芯にして巻く。

4 水300ccにコンソメスープの素を入れて煮ておく。

5 ①～④を皿に盛りよく盛り付ける。ソースは別容器に入れて添える。

サーモンのマリネ

66kcal

- 材料(4人分)
玉ねぎ…100g
きゅうり…100g
パプリカ(赤)…50g
コーン(缶)…50g
スモークサーモン…4枚
バセリ…4g

ドレッシングビネガー…80cc

砂糖…小さじ1(3g)

油…小さじ1(4g)

柚子コショウ…小さじ1/5

作り方

1 玉ねぎ・きゅうり・パプリカは1cm角に切る。玉ねぎは水につけてくさみをとる。コーンは水気を除いておく。バセリは1房に切る。

2 ②の鍋にふやかしておいた粉ゼラチンを入れて混ぜる。

3 ④の荒熱をとり、氷水をあてがつてボールのふちが固まりかけるくらいもつたりとしたラゼリーティングに入れると、(混ぜていると感触が変わってくるので、そこがポイント!)

4 マリネ液を作り、①をマリネする。

5 ③に②の鍋で盛り付け、かたちよくスモークサーモンをのせ、バセリを添える。



国際交流と英語コミュニケーション学科の

「海外臨地講義」

人文学部英語コミュニケーション学科の海外プログラムに新しい体験型プログラム「海外臨地講義」が加わりました。アメリカ・オハイオ州の本学海外協定校を拠点にした臨地講義担当の日本人教授とアメリカ人の現地講師のチームティーチングによる短期の海外集中講義で、アメリカの文化や社会に根ざした「生活英語」を体感する現地体験型の集中英語学習です。初回の臨地講義には、人文学部 西川精秀教授が授業を担当します。

誰でもこのプログラムに登録した学生なら参加でき、いままであと一歩、留学に届かなかった学生、また英語の成績はよくても経済的に躊躇していた学生が、英語コミュニケーション学科の講義として実際に体験できる短期海外集中コースです。

プロジェクトブックを通して事前に学習したインタビュー英語を利用しながらアメリカ文化と社会、そして英語そのものをじかに体験しながら学んでいくのが特徴。プロジェクトブックの完成がそのまま短期集中体験学習の成果とメモリーブックになります。海外協定校・マウントユ



帝塚山大学の留学プログラム

短期語学研修(春と夏の1ヶ月コース)、ポートランド州立大学での3ヶ月間に習得した英語学習を帝塚山大学の単位に読み替える中期留学、6ヶ月の語学留学、そして1年間の正規留学などがあります。



ニオン大学(Mount Union College)の教室や施設を利用しながら、さまざまな体験をインタビューし、英語の学習を通して現地の人々と交流します。

プログラム成功のために6月には現地担当者のスコット A. スレーバーさん(写真中央)が来学、私たち日本側スタッフと打ち合わせを行いました。「帝塚山とは長年の協定校としての歴史があり、今後も交流を深めたい」と話していました。

今年の「海外臨地講義」は、9月2日から14日まで。近辺の小中学校の訪問、大農場の訪問、アメリカ型近代的大老人ホームの訪問、そしてナイアガラ大瀑布での世界からの観光客との交流など、毎日がエクサイティングな英語学習を中心とした体験学習となっており、参加学生らは今から期待に胸を膨らませています。

2011年度 帝塚山大学

特別選考TF方式のご案内

帝塚山大学では、卒業生、もしくは在学中の方のご家族を対象とする入試制度「特別選考TF方式」を実施しています。

「TF」とは、「Tezukayama Family」の頭文字をとったもので、帝塚山学園の建学の精神、学風を深くご理解いただき、共に帝塚山大学のファミリーとしてお力添えをいただける方のご入学を歓迎する入試制度です。

出願資格は、学校法人帝塚山学園が設置するいずれかの学校を既に卒業された方、もしくは現に在学している方の2親等以内の親族(配偶者・子・孫・兄弟姉妹・父母・祖父母)で、2011年3月に高等学校等を卒業見込みの方です。

詳しい資格要件に関しては、入試課までお問い合わせください。なお、特別選考TF方式で受験希望の場合は、説明会の参加が必須条件となりますのでご注意下さい。また、その他の入試制度につきましても、お気軽にお問い合わせください。

出願までのスケジュール

説明会	⑦・8月のオープンキャンパス時にエントリー用紙・志望理由書を配布します。	(学園前キャンパス) 8月28日(土)
		(東生駒キャンパス) 8月7日(土)・8月22日(日)
		時間: いずれも11:00~11:30
エントリー用紙・志望理由書提出期日		8月26日(木)~9月3日(金) (消印有効)
事前面談		9月18日(土)
出願期間		9月21日(火)~9月28日(火) (消印有効)
選考日(面接)		10月2日(土)
合格発表		10月8日(金)
1次手続き締切日 (入学金納付※)		10月21日(木)

*特別選考TF方式で入学される方は、

入学金を¥300,000から¥100,000に減免します。

エントリー書類提出の際に、学校法人帝塚山学園が設置するいずれかの学校を卒業された方、もしくは現に在学している方の2親等以内の親族(配偶者・子・孫・兄弟姉妹・父母・祖父母)であることの証明書(卒業証書の写し・卒業証明書等を添付)が必要になります。

帝塚山大学 入試課

お問合せ先

Tel : 0742-48-9149 (直通) Fax : 0742-48-9021
E-mail : nyushi@jimu.tezukayama-u.ac.jp

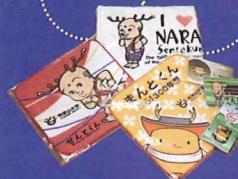
2011年度選考方法・入試日程一覧

入試区分	受付期間			試験	合格発表
	開始	最終	持込(本学持参)		
前期	10月7日(木)	10月29日(金)	11月1日(月)	11月5日(金)	11月13日(土)
			11月6日(土)		
面接型	10月7日(木)	10月29日(金)	11月1日(月)	11月7日(日)	11月13日(土)
推薦	11月17日(水)	12月7日(火)	12月8日(水)	12月11日(土)	12月17日(金)
				12月12日(日)	
後期	1月6日(木)	1月19日(水)	1月20日(木) ~1月21日(金)	1月25日(火)	2月1日(火)
				1月26日(水)	
A日程・前期	1月6日(木)	2月1日(火)	2月2日(水) ~2月3日(木)	2月6日(日)	2月11日(金)
A日程・後期	1月6日(木)	2月16日(水)	2月17日(木) ~2月19日(土)	2月22日(火)	3月2日(水)
				2月23日(水)	
B日程	1月25日(火)	3月10日(木)	3月11日(金) ~3月12日(土)	3月14日(月)	3月17日(木)
センター試験	1月6日(木)	2月3日(木)	—	—	2月11日(金)
利用入試	2月21日(月)	3月9日(火)	—	—	3月17日(木)
外国人留学生(前期)	11月8日(月)	11月17日(水)	—	12月11日(土)	12月17日(金)
外国人留学生(後期)	1月12日(水)	1月25日(火)	—	2月22日(火)	3月2日(水)

入試区分	エントリー期間		出願受付最終日	試験	合格発表
	開始	最終			
前期	8月26日(木)	9月3日(金)	9月21日(火) ~9月28日(火)	10月2日(土)	10月8日(金)
A O	後期	11月29日(月)	12月6日(月)	12月13日(月) ~12月16日(木)	12月18日(土)
	3月入試	—	—	2月28日(月) ~3月11日(金)	3月17日(木)
				3月14日(月) 持込可能	3月18日(金)
シニア特別選考、社会人特別選考	8月26日(木)	9月3日(金)	9月21日(火) ~9月28日(火)	10月2日(土)	10月8日(金)

*各試験の、選考方法、実施学部については、入試課にお問合せまたは、ホームページ(<http://www.tezukayama-u.ac.jp/admission/>)でご確認ください。

読者の方々からの
声を
お待ちしております



「大学通信帝塚山」は、大学の各種情報を多くの方々に知っていただくと同時に、読者の方々と大学の双方に向コミュニケーションの促進を目指しています。

本誌の記事、本学の教育・研究内容などについてのご意見・ご感想や、「大学通信帝塚山」に取り上げて欲しい内容についての皆様の声をお待ちしております。いただいたご意見等は次回以降の「大学通信帝塚山」に反映させていただきます。

*宛先は左記を参照してください。なるべく、ご住所、お名前、電話番号の記入をお願いいたします。

「大学通信帝塚山」について、ご意見をお送りくださった方全員に、帝塚山大学グッズをプレゼントします。

「大学通信帝塚山」
企画・編集委員会

〒631-8501 奈良市帝塚山7丁目1-1
TEL 0742-48-9341 FAX 0742-48-9030
[E-mail] koho@jimu.tezukayama-u.ac.jp
[URL] <http://www.tezukayama-u.ac.jp/>